

# 日本医用画像工学会

## 2007年度総会 議事録

会 期：2007年7月20日（金） 13：20～13：50

会 場：つくば国際会議場 大ホール

- 議 事：1. 赤塚会長より開会の挨拶があった。
2. 斉藤常任幹事より出席38名、委任状32名の合計70名により総会が成立することが確認された。
  3. 議長選出  
満場一致で赤塚会長に議長を委任することが決定された。
  4. 審議事項
    - (1) 2006年度事業報告および2007年度事業計画
      - 1) 大会関係事業について斉藤常任幹事より報告・提案（資料1）があり承認された。
      - 2) 渉外・フォーラム活動について羽石常任幹事より報告・提案（資料2）があり承認された。
      - 3) 編集委員会活動について尾川編集委員長より報告・提案（資料3）があり承認され、ホームページからの論文検索法の説明があった。
      - 4) 広報委員会活動について安藤広報委員長より報告・提案（資料4）があり承認され、ホームページへのアクセス状況の報告があった。
    - (2) 2006年度決算報告(案)（資料5）が、細羽常任幹事より報告され承認された。
    - (3) 2006年度会計監査報告が、伊藤監事より適正であったと報告された。
    - (4) 2007年度予算(案)（資料6）が、細羽常任幹事より報告され承認された。
    - (5) 規定等の改定および制定について  
斉藤常任幹事より下記の規定の改定および制定の報告があり承認された。
      - 1) 役員選任規定の第1条、常任幹事7名以内を10名以内と改定。
      - 2) 学会倫理規定（資料7）を新たに制定した。
    - (6) 名誉会員推挙および役員人事  
斉藤常任幹事より下記の通り人事についての報告があり承認された。
      - 1) 名誉会員に平敷淳子先生（埼玉医大名誉教授）が推薦され、承認された。
      - 2) 編集委員長を尾川先生（法政大）より周藤先生（東海大）に交替することが、報告され承認された。
      - 3) 下記の通り退任人事が報告され、承認された。
        - ①常任幹事：横内久猛（プロテック）
        - ②幹事：平敷淳子（埼玉医大）、篠田英範（東芝M）、古島信正（NEC）、井桁嘉一（日立M）、長山格（琉球大）
      - 4) 下記の通り新任人事が報告され、承認された。
        - ①常任幹事：周藤安造（東海大）、井桁嘉一（日立M）、八幡満（GE 横河M）、

五十嵐昭人（富士フィルムM）

②幹事：横内久猛（プロテック）

5) 下記の通り任期満了に伴う再任人事が報告され、承認された。

①副会長1名

②幹事17名

③監事1名

6) 第27回大会長に尾川常任幹事が推薦され、承認された。

7) JAMIT Frontier 2008 の世話人を羽石常任幹事が担当することが報告され、承認された。

5. 尾川編集委員長より2006年度論文賞の受賞者が報告され、赤塚会長より賞状等の授与がされた。(資料8)

6. 細羽第25回大会プログラム委員長より第25回大会奨励賞の受賞者が報告され、赤塚会長より賞状等の授与がされた。(資料8)

7. 尾川第27回大会長より挨拶があった。

8. 赤塚会長より閉会の挨拶があった。

以上

#### 【資料1】大会

2006年度：第25回大会を、湊小太郎大会長（奈良先端科学技術大学院大学）のもとに、京都大学百年時計台記念館にて開催した。（2006年7月21日・22日／総参加者400名／総演題数131演題）

2007年度：第26回大会を、武田徹大会長（筑波大学）のもとに、つくば国際会議場にて開催する。（2007年7月20日・21日）

#### 【資料2】学術

##### 2006年度活動報告

1. JAMIT Frontier 2007 を韓国済州島で開催した（世話人：羽石秀昭（千葉大学））。JAMIT Frontier 2007, Korea-Japan Joint Symposium on Medical Imaging 2007, 電子情報通信学会医用画像研究会（MI研）が参画して、Asian Forum on Medical Imaging 2007 として共同開催。（2007年1月25日～27日）

2. 施設見学情報交換会：

第3回（独）放射線医学総合研究所 2006年5月22日（月）

第4回 東京慈恵会医科大学 高次元医用画像工学研究所 2007年2月20日（火）

##### 2007年度活動計画

1. JAMIT Frontier 2008 を、電子情報通信学会医用画像研究会（MI研）等との共同開催で、沖縄で開催予定（世話人：羽石秀昭（千葉大学））。（2008年1月25, 26日）

2. 会員の要望を聴取しながら、施設見学情報交換会をひき続き実施していく。

第5回 高エネルギー加速器研究機構（KEK） 2007年7月19日（木）

#### 【資料3】編集

## 2006 年度報告

1. 論文誌の発行：2006 年 8 月～2007 年 7 月 vol. 24 No. 5, 6 vol. 25 No. 1, 2, 3 の 5 冊（研究論文 23、特集論文 20、研究速報 3、技術報告 1）、supplement；JAMIT 大会特集号 CD-ROM.
2. 査読付き論文制度の継続：2007 年の JAMIT 大会の発表論文を正規論文として査読（26 件応募）（前年度；30 件応募 14 件採録）。受理された論文は 9、11 月号に掲載（ただし、9 月号は大会論文集号）。
3. 2006 年度論文賞の選考：  
楊海園、他：Vol. 24 No. 3, pp201-208(2006).
4. 学会サーバによる論文誌のホームページへの掲載 MIT 誌創刊以来全論文の Web 掲載.
5. 投稿に関する倫理規定の制定（学会の倫理規定についても作成）.
6. PubMed に掲載されるための活動.
7. 編集会議（3回）およびメールによる会議.

## 2007 年度計画:

編集委員会の開催（総会開催時）、編集会議（3回程度）、論文賞の推薦、  
PubMed への MIT 誌情報の掲載【継続】、論文誌の充実 等.

## 論文投稿に関する倫理ガイドライン:（2007 年 3 月 23 日）

本論文誌に論文投稿をする場合、非学会員であっても別掲の本学会の倫理規定を遵守し、特に下記の項目について十分な注意を行った上で投稿してください。

1. データ改竄・捏造に関する注意  
論文投稿のために研究データを改竄・捏造することは、著者のみならず、研究分野全体、ひいては科学技術の信頼性に関わる重大な問題を引き起こします。絶対にしてはなりません。
2. 剽窃に関する注意  
慣用的に使用される表現などを除き、他の論文や著作物に独自性が認められる表現を出典の記載なしに自らの論文に使用することは剽窃に当たります。執筆の際に十分注意してください。
3. 論文著者に関する注意  
研究成果に一定の学術的な貢献があった人物は必ず著者に含めるべきですが、全体として多すぎないように留意してください。また、学術的な貢献のない場合は著者として含めないでください。直接的あるいは学術的ではないが一定の貢献をした人物については、謝辞において記載するのが一般的です。
4. 二重投稿に関する注意  
記述した言語に関わらず、他の査読付き論文誌に掲載された論文と同一内容のものを本論文誌に投稿することはできません。また、本論文誌へ投稿した論文と同内容のものを同時に他の査読付き論文誌への投稿に使用することもできません。ただし、一部に同内容を含むが手法の改良や新実験データの追加など、発展的あるいは新しい内容が追加されていてその部分の新規性を主張している場合は、この限りではありません。

## 掲載された論文の著者自身によるネット等への公開に関して

編集委員会では、掲載論文を著者自身が個人のホームページなどを利用してインターネット上で公開することに関して、現状では以下のように定めていますので遵守してください。

1. 掲載論文そのものの pdf をホームページにおくことは禁止します。
2. 掲載論文以外のもの（たとえば、投稿時の論文、プレプリントなど）を、ホームページにおくことは妨げません。
3. JAMIT のホームページにおかれている MIT 誌の web 頁への link などは自由です。

**[資料4] 広報**

2006年度活動報告：

1. JAMIT ホームページ (<http://www.jamit.jp>) の整備；1日あたりのアクセス数：900～1370、で3，5月のアクセスが多い。高頻度参照コンテンツ：学術大会の資料、学会誌の内容。
2. メールマガジン：広報および会員相互のコミュニケーションの改善を目指して開始（2005. 9）。2006. 7～2007. 6：16通。
3. ストリーミング配信の試行：JAMIT2005 および JAMIT2006 の特別演題などについて配信テストを行った。

2007年度活動計画：

1. ホームページの TOP ページのリニューアルを予定している。
2. メールマガジン（JAMIT-announce）を続行する。
3. ストリーミング配信の試行：JAMIT2007 の発表一部（特別講演など）を2007年9月以降開始予定。

**[資料5] 2006年度決算**

収入

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
1. 正会員費@8,000X440名 (図書会員@13000x18)	3,754,000	3,041,000	713,000	@8,000X343 (@1000x31、@13000x18、@8000x4)
2. 学生会員費@3,000X100名	300,000	303,000	△ 3,000	@3,000X101
3. 賛助会員費@80,000X27口	2,160,000	2,000,000	160,000	@80,000X25口
4. 会誌広告料	1,200,000	1,680,000	△ 480,000	
5. 会誌別刷代	2,500,000	4,087,020	△ 1,587,020	
6. 大会事業収入	4,558,500	5,671,500	△ 1,113,000	
7. 雑収入	100,000	112,562	△ 12,562	
当期収入合計 (A)	14,572,500	16,895,082	△ 2,322,582	
前年度繰越金	3,230,826	3,230,826	0	
収入合計 [B]	17,803,326	20,125,908	△ 2,322,582	

支出

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
1. 会誌発行費 5回 24巻3,4,5号,25巻1,2号	8,100,000	9,190,817	△ 1,090,817	
2. 大会事業費 1回	4,558,500	4,991,656	△ 433,156	
3. JAMIT FRONTIER 大会補助費	100,000	131,690	△ 31,690	
4. ネットワーク維持費	200,000	61,740	138,260	
5. 表彰費	150,000	163,800	△ 13,800	

6.	事務局費	960,000	901,320	58,680	
7.	備品・消耗品	100,000	41,769	58,231	
8.	印刷費	100,000	68,775	31,225	
9.	旅費交通費	450,000	535,765	△ 85,765	
10.	会議費	250,000	212,198	37,802	
11.	通信費	100,000	117,870	△ 17,870	
12.	雑費	100,000	1,620	98,380	
13.	予備費	2,095,164	0	2,095,164	
	当期支出合計 (C)	17,263,664	16,419,020	844,644	
	当期収支差額 (A-C)	0	476,062	476,062	
	次期繰越収支差額 (B-C)	0	3,706,888	△ 3,706,888	
	支出合計	17,263,664	20,125,908	△ 2,862,244	

【資料6】2007年度予算計画

収入

科 目	07 予算額	06 予算額	備 考
1. 正会員費 @8,000X400名 +@13,000x18(図書会員)	3,434,000	3,754,000	
2. 学生会員費 @3,000X100名	300,000	300,000	
3. 賛助会員費 @80,000X25口	2,000,000	2,160,000	
4. 会誌広告料	1,500,000	1,200,000	
5. 会誌別刷代	3,000,000	2,500,000	
6. 大会事業収入	5,373,000	4,558,500	
7. 雑収入	100,000	100,000	
当期収入合計 (A)	15,707,000	14,572,500	
前年度繰越金	3,706,888	3,230,826	
収入合計 [B]	19,413,888	17,803,326	

支出

科 目	07 予算額	06 予算額	備 考
1. 会誌発行費 5回 24巻3,4,5号,25巻1,2号	8,500,000	8,100,000	5回発行
2. 大会事業費 1回 事業補助費 (JAMIT Frontier, 見学	5,373,000	4,558,500	
3. 会)	100,000	100,000	
4. 広報関係費 (旧ネットワーク維持費)	1,500,000	200,000	HP 論文公開
5. 表彰費	150,000	150,000	
6. 事務局費、事務諸経費	960,000	960,000	
7. 備品・消耗品	100,000	100,000	
8. 印刷費	100,000	100,000	
9. 旅費交通費	450,000	450,000	

10. 会議費	250,000	250,000	
11. 通信費	100,000	100,000	
12. 雑費	100,000	100,000	
13. 予備費	1,730,888	2,634,826	
当期支出合計 (C)	19,413,888	17,803,326	

**【資料7】学会倫理規定** (2007年5月29日)

日本医用画像工学会会員（以下、会員）は、医用画像工学のための科学技術の研究開発を通じた社会への貢献、公益への寄与によって産業と文明の発展に努力する。また、科学技術が人類の環境と生存に重大な影響を与えることを認識し、科学技術の発展とその成果の社会への還元において自らの良心と良識に従った自律ある行動が不可欠であることを常に自覚し、社会からの信頼を得るべく以下に定める綱領を遵守する。

1. 責任

会員は、医用画像工学がもたらす社会や個人への影響と危険性について十分に配慮し、自らの専門知識、経験を生かして、人類の安全、健康、福祉の向上・増進に配慮して活動する。

2. 公平性

会員は、人種、国籍、宗教、性別、障害に関わらず、公平かつ真摯に対応し、個人の自由と人権を尊重する。

3. 自己研鑽と他者との関係

会員は、専門家として自己研鑽に努めるとともに、他者の能力向上を支援し、学術の発展と文化の向上に寄与する。

4. 公開性

会員は、自身の関与する事実や活動について社会の理解と信頼、および協力を得るため、積極的にその成果を社会に還元するとともに、中立性、客観性をもって公開することに努める。

5. 公正性

会員は、真摯に研究ならびに実践活動を行い、得られる結果に誠実に対応する。

6. 知的財産の尊重

会員は、著作権、特許権などの知的財産権を尊重する。

7. 行動規範

会員は、研究開発、職務および日常生活において、環境、社会、組織、個人を尊重し、個人情報及びプライバシーの保護、社会人としての規範を遵守する。また、ヒト試料の使用に関しては「ヘルシンキ宣言(採択：1964、改訂：2000)」の倫理基準に従い、動物試料に対しても動物愛護上の配慮を行う。

8. 契約の遵守

会員は、専門職務上の契約の下に知り得た職務上の情報について機密保持の義務を全うする。それらの情報の中に人類社会や環境に対して重大な影響が予測される事項が存在する場合、契約者間で情報公開の了解が得られるよう努力する。

**【資料8】表彰**

2006年度 MIT誌「論文賞」:

楊 海圀、李 美花、小泉 和人、工藤 博幸；円軌道スキャンによる体軸トランケーション投影データののためのラドン空間での補間が可能なフィルタ補正逆投影型コーンビーム画像再構成法、

第25回日本医用画像工学会大会「大会奨励賞」

OP7-5	細田 順一	早稲田大学大学院理工学研究科	自己組織化マップを用いた複数MRI画像からの腫瘍自動抽出ー高速化アルゴリズムの検討ー
OP8-3	中田 有一	名古屋大学大学院情報科学研究科メディア科学専攻	図形分割を用いた胸部CT像における肺葉抽出手法の検討
OP10-3	山崎 智浩	千葉大学大学院自然科学研究科	呼吸同期PETにおける吸収補正法の提案
OP10-6	小林 哲哉	千葉大学大学院自然科学研究科	検出器配置の異なる近接撮影型DOI-PET装置の計算機モデルによる感度・計数率特性の比較
OP11-4	黒田 嘉宏	京都大学大学院医学研究科先端領域融合医学研究機構	前立腺触診を対象とした技能教材VRシステムに関する研究
OP12-5	牛木 卓	千葉大学工学部情報画像工学科	腹部への画像投影による腹腔鏡下手術支援システムの構築
OP15-4	久保 統規	東京農工大学	腹部3次元CT像における複数臓器抽出のための腹腔内標準化